

残念！武富則章さんの4連勝ならず。岡元孝一さんが今季初Vで阻止

いよいよ秋のスポーツシーズン到来で、このところボウリング場も活況を呈しております。この日の品川プリンスホテルボウリングセンターでは午前中からスタートした12レーン貸切の60人を超す大会が行われていたり、4時から全フロア貸切の某企業の大会のため、われわれのスタート時間が30分の繰り上げを強いられました。1レーン2人で投げられたせいか、いつもより早く終わる結果となりました。

例会は今回も33名が参加する盛会となりましたが、何とんでも今季3連勝と好調の武富さんの連勝を誰が食い止めるかが注目されていましたが、お互いを好敵手と認め合う岡元孝一さんが216点のハイゲームを含む530点のハイスコアをマークし見事に阻止、今季初勝利を果たしました。

【ボウリング界のミニ情報】

《アジア大会で金メダル》2020年の東京オリンピックでは残念ながら追加競技種目には選ばれませんでした。アジア競技大会では第8回(1978年のタイ・バンコク大会より正式種目となっており、先月8月に開催された第18回大会(インドネシア・パレンバン)では、男子のトリオ戦で佐々木、安里、和田組が、女子ではマスターズ戦で石本美来選手が見事に金メダルを獲得しました。

《長寿ボウラー番付発表》敬老の日がある9月にちなんで、今年もボウリング場協会から「長寿ボウラー番付表」が発表されました。男性が80歳以上、女性が75歳以上で月に一回以上ボウリング場の定例会に通っている方が対象ですが、男性は3100名と昨年より287名増で最高齢者は103歳、女性は4497名と昨年より370名増で99歳が最高齢と現役ボウラーとしての活躍ぶりは驚くばかりですが、この競技の生涯スポーツとしての魅力でもあります。皆さんも健康維持と親睦のためにも大いに楽しみましょう！

さて、リレートークも回を重ねてくるとボウリングを通じて人各々にいろんな関わり方があるものだと感心させられていますが、今回のビッグな関わりを語ってくれるのは28人目のリレーボウラー小泉元二さんです。

その関わりとは、日本ボウリング界のレジェンドと称され、プロ第一期生の一人として今なお50年以上に亘って現役活動を続けている岩上太郎プロとの出会いです。小泉さん自身も若かりし頃に二度のパーフェクトゲームを達成し羨ましい限りです。願わくば往年のビッグスコアを又見せていただきたいものですね！

懐かしき思い出

リレートーク②⑧ 小泉 元二

私が初めてボウリングと出会ったのは、1964(S39)年東京オリンピックの年で、ボウリング場は、船橋ヘルスセンターでした。当時のゲーム代は1Gがたったの50円。でもいつもガラガラでした。そんな中に上手い人がいるな～と見ていたのが岩上太郎(ガンさん)さんでした。(当時はガンさんとは知らなかった)仲間3人と何度か通っているうちに3回に1度位そのガンさんがコーチをしてくれました。

だから、当時習った仲間3人は、他の連中よりは2～3歩先を行っていたように思います。そのうちに、テレビにもボウリングの番組が増え、毎日どこかの局でやるようになってそこで、岩上太郎さんがテレビに出ているのを見て初めて本人だと知りました。(※末尾に岩上太郎プロについてのプロフィールを記載しています)

ボウリング熱が高じてS42(1967)年頃からボウリング場でバイトを始めました。最初の配属先はマシン部でした。当時の装置はまだ手で1人が2台を受け持ち、ピンを手で一本ずつセットし5番ピンを最後に入れてやると動き出す、最も古いタイプでした。しかしこの頃から機械化が進んできて、このボウリング場もブームに乗り遅れないよう半分づつ、ブランドウィックの自動装置に交換が始まっていました。

その後配置換えになり約3ヶ月間フロント補佐に。楽しみはPM11:30で営業終了になるとそれから1時間、3人はタダで練習させてもらいスコアは付けず、ただ投げるだけで3G～4G投げることができました。

S43(1968)年頃からボウリングブームが訪れ、待ち時間が3時間～4時間、料金が¥700+貸靴代。それでもなお、客足は途切れることがなく毎日超満員でした。また、ボウリング場のクラブ会員になると会員だけの試合があり、市内に3カ所のボウリング場を回っては試合に出まくっていました。

当時の賞品は豪華で、洗濯機、冷蔵庫などの家庭用家電やグアム旅行にボール各種など多種多様な賞品が提供されていました。笑い話になりますが、ボールを貰い過ぎて自宅花壇の柵代わりに使う有様でした。

そのうち仲間3人でプロテストを受けようということになり、ボウリング場の協力も得て猛烈な練習をしました。合格ラインは[3日間で60ゲームAVE201ピン以上]でしたが、三人ともAVE195ピンを出したものの残念ながら全員が不合格でした。今では須田佳代子、中山律子、並木恵美子、石井利恵、野村美枝子らと投げたのがいい思い出となっています。勿論“ガンさん”こと岩上太郎プロとの出会いのこともです。

H25(2013)年に脳梗塞を発症し、大和ハウスをリタイア。右半身に少し後遺症がありますが、杉山部会長の熱心な勧誘もあり”55年“ぶりに又昔を思い出してボウリングを楽しんでおります。今後もみんなで仲良く、挑戦していきたいな～。との思いを強く胸に抱きながら！

【岩上太郎プロのプロフィール】 1935.3.7生、当年83歳。ボウリング界のレジェンドと称されている。

1967年プロ第一期生。矢島純一プロとは同期生で二人だけが現役プロ選手として活躍中。座右の銘も「生涯現役」。

1958年に日本人として初のパーフェクトゲーム達成。“ミスターボウリング”や“ボウリングの神様”との異名を持つ。

2018 年度第 5 回(9 月 11 日)
 関東大和ハウス OB・OG 会 ボウリング部会 例会成績表

順位	会員名	3G スコア	アベレージ	HC ×3	トータル	ハイゲーム	ストライク	スペア	ガター	次回 HC (1G)	各賞	獲得 P
1位	岡元 孝一	530	176.7	54	584	216	9	16	0	13	優勝	5
2位	武富 則章	490	163.3	12	502	177	7	17	0	3	2位	4
3位	大網 公雄	453	151.0	45	498	171	9	11	1	13	3位	3
4位	浜野 友治	434	144.7	45	479	157	8	11	0	15	4位	2
5位	手塚 敏文	463	154.3	☆15	478	160	8	11	0	☆5	5位	1
6位	杉山 光司	451	150.3	☆18	469	164	6	11	0	☆6		
7位	五十畑芳江	364	121.3	105	469	127	4	8	2	35	7位	1
8位	高梨 政子	373	124.3	90	463	135	6	7	2	30		
9位	太田 哲次	411	137.0	45	456	149	5	12	0	15		
10位	的場 幸枝	379	126.3	75	454	145	6	8	2	25	10位	1
11位	金久保篤司	415	138.3	36	451	156	6	12	0	12	当日賞	1
12位	鈴木 政美	353	117.7	90	443	125	4	10	3	30		
13位	小高 国幹	370	123.3	60	430	133	5	8	1	20		
14位	勝俣 佳忠	367	122.3	60	427	125	3	13	2	20		
15位	牧野 達裕	361	120.3	60	421	127	6	6	2	20	15位	1
16位	小泉 元二	375	125.0	45	420	147	4	9	1	15		
17位	山田 茂	406	135.3	☆12	418	149	6	11	0	☆4		
18位	三輪 仁	358	119.3	60	418	137	3	9	0	20		
19位	今井 輝夫	372	124.0	45	417	128	8	3	0	15		
20位	坂本 洋子	307	102.3	105	412	117	1	8	1	35	20位	1
21位	鈴木雅生	343	114.3	60	403	123	4	6	0	20		
22位	川村 由江	297	99.0	105	402	113	1	8	3	35		
23位	仲西 徹	339	113.0	60	399	142	5	8	5	20		
24位	高村 義明	336	112.0	60	396	125	2	8	0	20		
25位	豊田 利夫	333	111.0	60	393	116	3	7	0	20	25位	1
26位	山本 浩右	328	109.3	60	388	123	2	9	2	20		
27位	板井 泰康	342	114.0	45	387	133	7	6	1	15		
28位	大澤 秀一	340	113.3	45	385	133	2	8	0	15		
29位	中村 信之	330	110.0	54	384	140	3	7	1	18		
30位	矢部 徹	333	111.0	45	378	125	3	6	1	15	30位	1
31位	森 和晴	325	108.3	45	370	111	1	9	1	15		
32位	飛弾野真由美	242	80.7	90	332	94	1	3	4	30	BB賞	1
33位	柘植 正司	229	76.3	45	274	91	1	4	7	15		

☆印はマイボール H/C10 差引済み ※赤字は HC 変更



今日もガッツで行こう！ 2018 年度第 5 回 例会

2018. 9. 11